

里見りゅうじ物語

愛知から、明日をつくる即戦力。

by のもと・みどり

1967年生まれ

経済的に苦しい中、両親は必死に3人の子どもを育てた

忙

両親の苦勞を、目の当たりにし、当時から暮らしの根本である雇用を守ることの大切さを痛感

仕事

関西創価高校在学中に

世の中に役立つ人材になりたい

と、固く誓い、勉強に打ち込んだ

一浪して東京大学経済学部に進学

ロンドンの日本大使館に一等書記官として赴任

英国のシングルマザーへの取り組みやニートの実情を日本に紹介

帰国後、役所と国会をつなぐパイプ役を担う国会連絡室長として

一人一人の国民のための行政運営に心を砕き

ブラック企業対策など労働条件の改善、最低賃金の引き上げに全力で取り組んだ

経験

現場で鍛えた経験と未来を開く確かなビジョンを併せ持つ実力派に期待が高まる

ビジョン

卒業後、労働省(現・厚生労働省)に入省

働く人を支援する仕事をするぞ!!

厚生労働省では24年半勤務

雇用対策の最前線

「ひとりのために」の信念を貫き奮闘

ハローワークの運営や職業紹介を統括する業務では

凸市ハローワーク、〇×市ハローワーク、△〇市ハローワーク

仕事を探しのこられる人の声に、耳を傾け、家族の心情にも思いを巡らしながら奮闘した

女性・子どもを守るため育児休業給付の政策立案にも尽力した

坂口労働大臣(当時)

全省庁を通じ初となるトヨタ自動車本社への官民交流で、がんばるぞー!

赴任

世界有数のものづくりを支える「ひとつづくり」の大切さを学ぶ

愛知をさらに輝かせるため以下の3つのビジョンを掲げる

①暮らしと雇用を守り、実感できる景気回復を

②命を守り、一人一人が輝き活躍できる社会を

③愛知が日本の「モデルケース」に

愛知 (AICHI)

どこまでも「ひとりのために」

愛知から、日本の明日をつくると情熱を燃やす!